

令和5年11月29日

課題解決型実践事業

「身体表現的手法を用いた友達作りワークショップ（飯山北小学校2年生）」

業務委託

報告書

友達作りワークショップ

実施日 : 令和5年11月21日 (火)

講師 : yummydance (ヤミーダンス) のメンバー4名

場所 : 丸亀市立飯山北小学校 体育館

対象 : 丸亀市立飯山北小学校

2年1組、2組、3組の児童78名

実施日	スケジュール	クラス
11月21日 (火)	2時間目 9:30~10:15	3組
	3時間目 10:35~11:20	2組
	4時間目 11:30~12:15	1組

アンケート結果

回答者 : 丸亀市立飯山北小学校教員 5名

学級担任 3名

特別支援教育支援員 2名

ワークショップの感想を5段階で評価

全くそう 思わない	←	どちらでも ない	→	とても そう思う
1	2	3	4	5

		4か5で評価 した割合	5名の 平均点
1	普段より積極的に参加していた児童が多かった	100%	4.8
2	新しい一面がうかがえた児童がいた	100%	4.6
3	普段より自己表現していた児童がいた	100%	5
4	普段は消極的な児童が楽しそうにしていた	100%	5
5	普段は一緒にいない児童同士の交流が見られた	80%	3.8
6	自分自身にも新しい気づきがあった	80%	4.4
7	授業に取り入れられそうな要素があった	100%	4.8
8	ワークショップ後、児童の様子に変化があった	100%	4.2
9	今後も舞台芸術のプロによるワークショップを取り入れたい	100%	4.8

アンケートの自由記述欄の回答

恥ずかしがり屋が多いクラスですが、とても温かく楽しい雰囲気を作ってくださったのでどの子も思いつくままに、体遊びや表現遊びを楽しめていたように思います。

普段はあまり一緒にいない子同士でも色々な組み合わせで友だちと関わっている児童の様子に驚きました。

何人かの児童が、昼休みに教室でも「ねんどマン」やダンスをして遊んでいて、うれしい気持ちになりました。

配慮を要する児童がどのように参加するのか少々心配でしたが、講師の誘導でスムーズに活動に入り、友だちとの関わりができていたのが、うれしい発見でした。

体育の授業はもちろん、運動会の表現にも取り入れられそうだと感じました。

ワークショップ写真

マル 友だちと協力して「〇」をつくる



自分では動かない「ねんどマン」の体を、自由に変えて面白いポーズをつくる



2人組で自由なポーズを交代でつくっていく 発表の時間を設けることで、友だちの表現の面白さに気づく



所感

友だちの体を動かす時の力の加え方や、協力して面白いカタチをつくるといったワークは「体で会話」をしているようであり、コミュニケーションのとり方を学ぶことに有効である。

相手の体を動かした後は、自分が静止するという動きを2人組で繰り返すワークでは、動きのルールをきちんと理解しつつ、自由な表現も行えており、低学年ながら、頭と体の連動が十分に行えていた。さらに、静と動の異なる表現の面白さへの気づきや、自分のダンスを見てもらう意識も児童の中に芽生えていた。

子どもたちからは「友だちを動かすのも楽しかったけど、自分が動かされるのも楽しかった」「体が柔らかくなった」「ヘンテコなポーズができた」といった感想があがり、友だちと協力して取り組むことで、自分自身の体にも新しい発見があったことが伺えた。

授業終了の挨拶では、日直担当の児童の号令の声が、最初と比べて何倍も大きくなりクラスみんなの「ありがとうございました！」の声も体育館中に響いた。ワークショップの成果として表現を楽しむことに加え、クラスの一体感が増したことが感じられ、とても印象的であった。

また、担任の先生からは、「運動会の表現に取り入れたい」という声もいただいた。クラスみんなで同じ振り付けで踊るのも良いが、音に合わせて自分を自由に表現するコンテンポラリーダンスを楽しむ子どもたちの姿を、家族をはじめ多くの方にぜひ見てほしい。